

FIoT コンソーシアム 第2回総会・第4回研究会 プログラム

- 1、日時：2025年2月21日(金) 13:00~17:00
- 2、開催：会場/Online (ハイブリッド開催)
- 3、会場：産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館 11階 第1会議室
- 4、会場アクセス：<https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/index.html>
- 5、プログラム：

13:00~13:20 総会

13:20~13:30 (休憩 10分)

13:30~13:40 研究会開会挨拶 FIoT コンソーシアム会長 植村 聖

13:40~14:40

講演1「森林価値の可視化技術で変わる国内カーボンクレジット市場の未来」

アイフォレスト株式会社 代表取締役 CEO 丸山 孝明 様

講演概要：持続可能な未来を目指す中で、世界では森林の価値を可視化する技術がカーボンクレジット市場に革新をもたらしています。本講演では、リモートセンシング技術を駆使した森林モニタリングシステムがどのようにして森林の炭素吸収量を正確に測定し、信頼性の高いカーボンクレジットを生み出しているかを解説します。また、これらの技術がクレジット市場の透明性と信頼性を高め、企業のカーボンオフセット戦略を支援する方法についても触れます。さらに、森林保全と経済的利益を両立させる新しいビジネスモデルの可能性を含め、日本のカーボンクレジット市場の未来を展望します。

14:40~15:40

講演2「カーボンニュートラル/サーキュラーエコノミーに向けたインベントリーデータベース (AIST-IDEA) の活用」

産総研 安全科学研究部門 IDEA ラボ長 田原 聖隆 様

講演概要：近年、企業はCN(カーボンニュートラル)やCE(サーキュラーエコノミー)を十分意識して経営していかなければ生き残れない状況になっています。つまり、企業は市場からの要求に対して、適切な対策を講じて、市場での適切な評価を受け続けていかなければなりません。もちろん、市場の要求だけに応えることが重要ではなく、CNを達成させるためにどれだけ貢献できるか、リサイクルやリユース、リマンを促進してCEへどれだけ貢献できるかが重要になってきます。本講演では、CN、CEに対して、企業が取り組みを適切に評価するためにはどのようにAIST-IDEAを活用していくのかを概説します。

15:40~16:10 コーヒーブレイク (名刺交換・意見交換)

16:10~16:55 2024年度 分科会活動報告

16:55~17:00 研究会 閉会挨拶 FIoT コンソーシアム副会長 吉田 学

【お問い合わせ先】：

FIoT コンソーシアム (<https://ssrc-fiot.jp>) 事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター内

E-mail : fiot-official-ml@aist.go.jp